

令和2年度事業「西川町議会事務事業評価シート」  
議会による事務事業評価（西川町議会）

No.	予算科目	事業名
5	8款4項1目	210-103-001 住宅建築支援事業

1 項目別評価

評価項目	評価点	意見等
1 必要性 ・町民にとって必要な事業か ・社会情勢からみて実施が適切か ・町が主体となって関与すべき事業か	22	住環境の整備は必要性が高く、町民にとっても関心が強い。また、町内業者での施工は資金循環の面からみても良好といえる。雪国の建築で必要なりフォーム支援事業であり必要性は高い。
2 妥当性 ・他事業とサービスが重なっていないか ・他自治体と比べサービスの対象、内容は適切か ・町民目線として適切か	21	色々な業者が関わり、また、県の補助があることから妥当性は高い。住環境の整備を図ることで人口減少対策にもなる。店舗併用住宅については、商工観光課との連携が必要である。
3 効率性 ・事業の手法は効率が良いか ・コスト削減の余地はないか ・受益者負担は適正か	17	建築事業者とタイアップし大いにPRを図り、説明会などを通して普及を図る必要がある。店舗併用住宅等の申請は、もう少し、申請者側に立った制度運営方法を考えてはどうか。町はHPの活用で効率性は上がったとしているが、高齢者の方々はHPを見られない方もいるので、これだけで効率性が十分とは言えないのではないか。紙ベースでも流して欲しい。
4 成果 ・事業の目的が達成されているか ・前年以前と比較し成果は上がっているか	19	利用者（町民）及び施工者にとっては大変良い事業だと思う。予算執行上も81パーセントあり成果はまずまず上がっている。今後とも、町民の快適な暮らしの支援のために必要な事業である。ただ、補助対象を年代とともに変えるなど、使い勝手の良い制度に作り替えていくべきである。

2 全体評価

評価	評価基準	合計評価点
2	1 きわめて良好である 100点	79
	② 良好である 75～99点	
	3 おおむね適正である 50～74点	
	4 問題がある 25～49点	
	5 かなり問題がある 1～24点	
	6 不適正である 0点	

3 今後の方向性

評価	評価基準	判定理由
3	1 拡充する	住民の要望に沿った事業をしている。住宅環境は変わるので時代と共に補助対象を変えるべきである。色々使えるよう工夫の跡が見える。今後も積極的な対応を望む。また、同じ建築物でも用途によって申請課、利用可能範囲、書類等が違くと利用者側は戸惑うと思う。せっかくの支援制度、利用者側に立った手続き等の検討をお願いしたい。以上のことから「改善し継続する」と評価する。
	2 現状のまま維持する	
	③ 改善し継続する	
	4 見直しのうえ縮小する	
	5 期間設定し終了	
	6 廃止する	

4 評価に係る意見等

事業の総合評価に関する主な意見、特記事項及び今後の方向性の理由等
この事業が町民や工事業者からの評判が良いとしているが、一般町民はこの補助金をどれくらい知っているのか。周知の方法をもっと工夫すべきである。ただ上記にも明記したとおり、執行率が高いのは工事関係者の理解のものなのか調査すべきである。いずれにしても住環境は人口を減少させないためにも重要である。安全で快適な暮らし応援のための施策として大変有効な事業である。改善や充実した施策に拡大されるよう期待したい。